

南阿蘇村教育長

まつの
松野

たかお
孝雄
(新所)



この度、教育長に就任しました松野孝雄です。

昨年度の熊本地震以来、立野に5歳と9歳の孫娘を含む6人で居住していた家族は、車中泊を続けるなか、避難所が開設された大津町にアパートを探したけれど見つからず、やっと隣接する菊陽町に落ち着くことができました。ただ、小学4年生だった孫娘については、菊陽町のア

パートから指定された大津小学校に通学するには送迎が必要だったため、母親である3女と2人の孫娘は菊陽町に住民票を

移し、近くの小学校と少し離れてはいますが菊陽町からお世話をいただいた保育園に転校、転園し現在に至っています。このような経緯の中で一番心配したのはやはり1人で転校、転園する孫娘のことでした。数回の家族会議を重ね、2人の孫娘にも頑張ってもらおう、2人の力を信じようと決断した次第です。

熊本地震から1年、まだ復興半ばです。「仮設住宅」や「みなし仮設住宅」から通学する子どもたち、南阿蘇村の学校に通うことができず校区外通学をしている子どもたちもまだ数多くいます。このようなときに立野に住む私に教育長のお話をいただいたのは、頑張っている子どもたちや住民の皆さんの目線に立って、職務を遂行してほしい

という思いが込められていると解釈しています。微力ですが頑張りたいと思っています。

熊本地震を通してさまざまなことに気づきました。村職員の間、驚異的な頑張り、避難所を提供していただいた本田技研の温かさ、大津町、菊陽町の丁寧な対応、何も手伝うことができないからと1カ月分の家賃を受け取られなかった家主さん(後日、みなし仮設となりました)、皆さんの優しさが身に滲みており、南阿蘇村でその恩返しができるばと思っています。

プロフィール

昭和47年4月から平成22年3月までの教職員生活の中で、本村では旧久木野中に3年、旧白水中に6年、中松小に1年の計10年間勤務。定年後は、小国町教育委員会指導員を経て現職。
現在、新所区副区長も務める。

教育委員に就任

3月議会定例会の同意を得て、村教育委員として、伊藤信郎さん(第二駐在)、藤安代さん(乙ヶ瀬)が新たに就任され、3月27日、久木野庁舎で辞令が交付されました。任期は、伊藤さんが3月26日から4年間、藤さんが前任の教育委員の退任による就任で、残任期間の2年間です。



教育委員に就任した藤さん(左)、伊藤さん